

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

ウェルビー

ご自由に
お持ちください



故きを温ねて
新しきを知る



高知城



第 60 号 2024 年度 秋

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000

E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: http://www.nanroukai.or.jp

消化器外科部長

加藤 智也 (かとう ともや)

和歌山県立医科大学 (平成 19 年卒)

【資格】

日本外科学会専門医

日本消化器外科学会専門医

日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

日本消化器病学会専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医



KIWA Doctor's Story No.9



みなさん、こんにちは。紀和病院外科の加藤智也です。

私は京都市に生まれ、高校卒業まで暮らしていましたが大学入学を機に和歌山県へ来ました。紀和病院へは 2024 年 4 月から勤務していますが、それまで 4 年間橋本市民病院で勤務しており、伊都橋本医療圏での仕事は 5 年目になります。

さて、私が興味を持っていることを 2 つ紹介したいと思います。

ひとつは「**廃道**」です。「廃」という言葉からは「廃人」「廃棄物」などマイナスのイメージを感じる人が多いと思います。しかし廃道にはかつての栄光や文化的価値など多くの魅力が存在しています。新しい道や隧道の脇にはたいてい旧道への分岐がありその先はどうなっているのかワクワクするのは私だけでしょうか。その好奇心を満たすため廃道探索をしたいのですが廃道探索には危険が伴い体力も必要なため専ら他人の探索レポートを読んで楽しんでいます。日本における廃道探索の第一人者である平沼義之氏の web site(山さ行がねが)には膨大な数の廃道レポートがあります。興味のある方は一度ご覧ください、きっと廃道の魅力に取り憑かれることでしょう。

もうひとつは「**城**」です。表紙の写真は城巡りを行うきっかけとなった現存 12 天守のひとつ高知城です。天守閣の美しさもさることながら、機械のない時代に職人により築かれた石垣の精緻さや力強さに魅せられ 5 年ほど前から城めぐりを行っています。日本城郭協会が日本 100 名城を選定しスタンプラリーを行っており、出張や旅行の際に近くの城へ立ち寄りスタンプを集めていますが、コロナ禍による出張の減少や旅行の自粛などによりまだ 14 カ所にとどまっています。日本 100 名城の次は続日本 100 名城、さらにはヨーロッパ 100 名城まであり全制覇への道のりは長いですが地道に巡りたいと思っています。

便利な新しい道が建設できるのは旧道を作った土木技術の発展によるものであり、ビルが建てられるのはかつて城を築いた頃の建築技術が発達したためでしょう。消化器外科の領域についても同様で、腹腔鏡手術やロボット支援手術など技術は進化していますがその基礎となっているのは従来から行われている開腹手術です。「故きを温ねて新しきを知る」、基本となる知識や技術をしっかりと学び、習得した上で、新しい知識や技術を身につけ日々の診療に当たりたいと思っています。よろしくお願いします。



夕方に卓球しています

“なりたい看護師になる”新プロジェクト

2025 年度 始動！

CTC

新人看護師臨床研修センター



センター長
看護部長 上野恵

なかま意識を高め支え合う体制づくりをめざしていきます

同期入職者の関係性を密にし、同じ境遇におかれた者同士で悩みや思いを話し合うことは、理解を深めお互いの癒やしにも繋がると考えています。CTC 内で同じ時間を共有することにより、相互学習をする機会が増え、またスキルの高い専門・認定看護師のサポートにより一層連携強化して参ります。

当センターでの経験は、将来必ず看護師として資産になると信じています

看護師という仕事に憧れ、そして理想を抱き医療現場に立った卒後最初の一年が、今後の看護師人生を語るうえで非常に重要な時期だと考えています。人が育つには、「教育」「経験」「環境」の3つの要素が大きく関わってきます。CTC ではそのすべてを提供し、1 年間で適切な教育を受け、必要な経験を積む環境を整えました。



センター管理長
副院長 梅村定司

来春 開設



新人看護師臨床研修センター(CTC)



鉄は熱いうちに打て

新人看護師臨床研修センター理念

POINT!

- ☑看護部長直轄の一元管理、一年次全員 CTC 所属
- ☑専門・認定看護師が教育・指導を担当
- ☑新卒一年次だけの空間（研修室）を用意
- ☑各部署配属は二年次から！

開催報告!! 夏祭りの祭典! 紀和カーニバル

600名を超す
たくさんのご参加
ありがとうございました♪



どろどろ見ただけだった医療の現場を体験できるとは有意義な
時間を通じました。ありがとうございました
最高に楽しかった!また、こんなイベントがあったら来ようと思いま

す。楽しくて勉強にもなった。笑顔で果して
2かい。むずかしい医療のイメージが変わったように
将来のことを考えると良いきっかけになりました!!
初めて参加しました。

スタッフの皆様がとてもお優しく、いい病院だなと思いました!
これからがんばって下さい!!

体験コーナーはいろいろ工夫をこらして楽しく興味を持って
ようとしていてとても良かったです。

リアルなものに触れられて
とても楽しめました。
子どもも大人も

めちゃ楽しかった

来場された方から、
嬉しい感想や、私たちの
励みになるお言葉の数々♪
他にもたくさんのコメント
ありがとうございました!

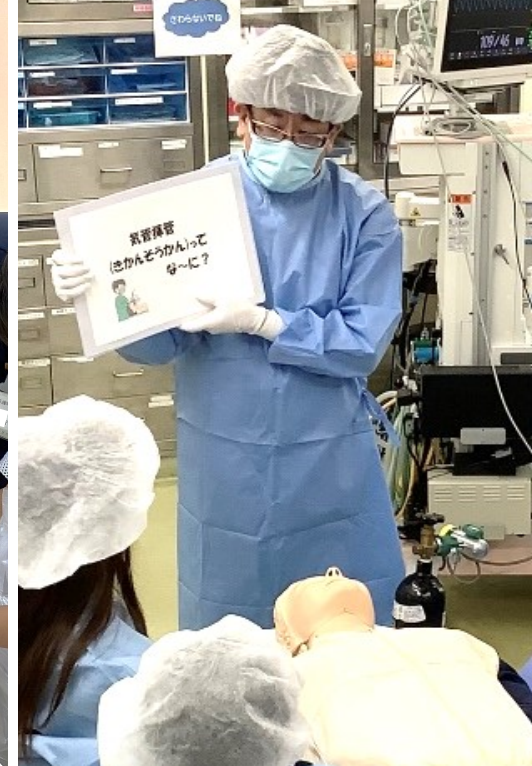




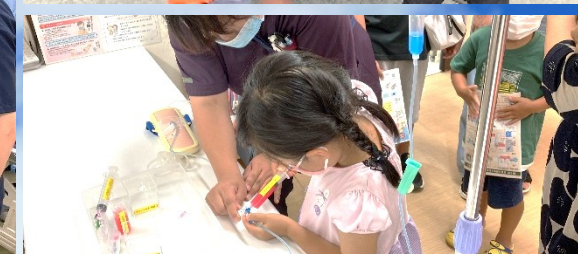
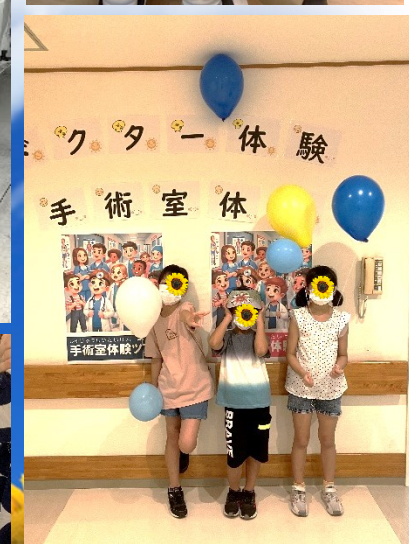
内科（総合診療科）堀口 圭補医師



内科（総合診療科）土生 康雅医師



麻酔科 白川 総一医師





新病棟 地域包括医療病棟

厚生労働省が行う診療報酬改定に伴い、新病棟を設立することになりました。

この病棟は「地域包括医療病棟」といいます。現在、日本の医療が抱える問題を解決するために、2024年9月から新設されました。この「日本の医療が抱える問題」とは、高齢者の人口増加、それに伴う救急搬送の増加です。（特に軽症・中等症で搬送される高齢者の方が増加しています）また、救急搬送された患者さんは急性期病棟に入院し治療を受けますが、治療中はベッドから動かないことが多いため、運動能力が低下してしまいます。治療が終わってもリハビリを受けるために転院することになり、在宅復帰が遅れてしまいます。

入院する高齢者の患者さんは誤嚥性肺炎や尿路感染を繰り返している方が多く、この患者さんに高度急性期（重症の患者）の医療資源を投入してしまうと、重症であり本当に高度な治療を必要とする患者さんが治療を受けられなくなってしまうことも考えられます。これらのことに対応するのが、この度新設される地域包括医療病棟です。役割としては、高齢者（軽傷・中等症）の救急受け入れ。また、早期の退院を目指し治療、リハビリ、栄養管理を同時に提供し、入院前と変わらず「自立した生活を送ることができる状態」での退院を目指します。また、スムーズに在宅復帰をするために介護との連携も行います。このように今まで急性期で請け負っており、ミスマッチとなっていた部分を解決することが期待されている病棟となります。橋本市という地域柄、これらの問題点は他人事ではありません。簡単に解決できる問題でないことも理解していますが、紀和病院は地域の人々により良い医療を永続的に提供するために誠心誠意、取り組んで参ります。

【対象疾患】 軽症・中等症の方／リハビリテーションと治療が必要な方／早期自宅退院を目指したい方

2024年
10月



歯科診療 OPEN しました



2024年10月、紀和クリニック内に
新しく「歯科」がオープンしました。

皆さまが生涯にわたり健康で美しい歯でいられるよう、より安全で安心な治療を心がけ、治療を行います。歯のことで不安なこと、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。

まずはお電話（0736-34-1255）でご予約お願いいたします。

新任医師のご紹介

歯科

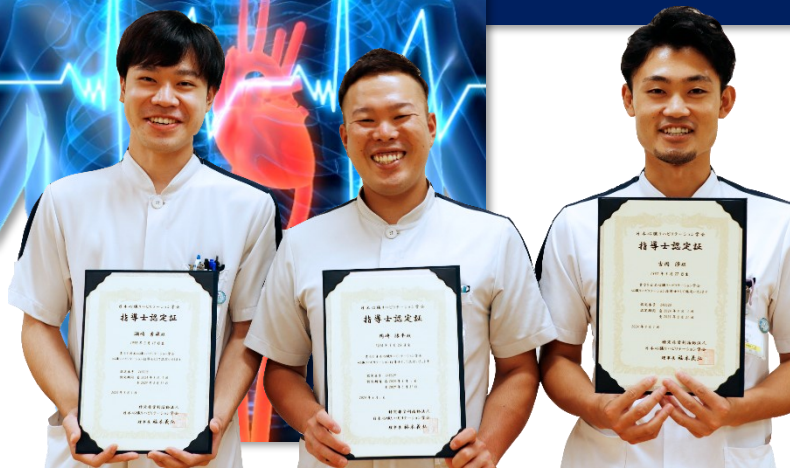
佐保 輝之（さほ てるゆき）

皮膚科

谷崎 琢哉（たにざき たくや）



心臓リハビリテーション指導士



(左から瀬崎 勇飛 / 岡崎 勝平 / 吉岡 渉 *3名とも理学療法士)

当院では、この度、心臓リハビリテーションの専門知識と技術を持つ「心臓リハビリテーション指導士」の資格を取得したスタッフが3名加わりました。

心臓リハビリテーション指導士は、心大血管疾患を持つ患者様に対して、専門的なリハビリテーションプログラムの提供と指導を行う資格を有しており、当院においてもより一層のケアを提供できるようになりました。当院における心臓リハビリテーション開設から早2年、“Made in Kiwa”の心臓リハビリテーション指導士が誕生したことで、今後も、患者様一人ひとりの状態に応じた個別のリハビリテーションプランを通じて健康の回復と維持をサポートしてまいります。

紀和病院 医療チーム紹介 No.5

褥瘡委員会



褥瘡（じょくそう）とは長時間の圧迫により皮膚の表面が赤味を帯び傷ができることをいいます。重篤な場合は筋肉や骨にまで及ぶこともあり、時に生命にまで影響を及ぼすことがあります。

そのような傷に対し、褥瘡対策チームでは、医師は治療計画や傷の処置、看護師やケアワーカーは日常生活のケアや皮膚の観察、リハビリスタッフは姿勢を整え体を動かす訓練、管理栄養士は栄養面から食事を工夫し、薬剤師は適切な薬剤のアドバイスをそれぞれの役割とし、患者さんをチームで支援し解決にむけて取り組んでいます。



WELL BEING NEWS



東洋羽毛 関西販売株式会社様から車椅子をご寄贈いただきました。クッション性のある座り心地のよい車椅子です。病棟で大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

東洋羽毛 様から車いすが寄贈！

副院長 岩崎留美看護師が、永年の活動に対して表彰されました。表彰式では、和歌山県内各施設14名の表彰者を代表して謝辞を述べました。紀和病院 看護部として、岩崎副院長を誇りに感じるとともに、我々もより一層精進していこうと改めて誓った瞬間でした。



2024年6月15日(土)
「令和6年度 和歌山県看護協会通常総会」